



5

A

日本の特色と地域区分(2)

気候・災害②

氏
名

組 番 得 点

/ 50

1 〈四季のある気候〉 次の文中の□□□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 四季のうち、日本海側の気候で降水量が特に多くなる季節は、□□□□である。
- (2) 日本の気候に影響を与える、季節によって吹く向きが変わる風を、□□□□という。
- (3) 日本の気候区分のうち、□①□の気候と□②□の気候は、山地や山脈によって(2)の風がさえぎられるため、降水量が比較的少ない気候である。年平均気温は□①□の気候より□②□の気候の方が高い。
- (4) 関東地方で、(2)の風は、夏は□□□□の方角から吹いてくる(8方位で答えなさい)。

1 (各4点×5)

(1)	
(2)	
(3)	① ②
(4)	

2 〈自然災害に向き合う〉 次の問いに答えなさい。

- (1) 過去に何度も地震を起こし、今後も地震が起こる可能性が高く、その周辺で地震が起こると強いゆれが生じる断層のことを何というか。
- (2) 川の流れた跡地に造成された宅地などで起こる、地震のゆれにより急に地面がやわらかくなる現象を何というか。
- (3) 海底で大きな地震が発生した際に、海水が押し上げられて高い波となり、沿岸部を襲うことがある。この現象を何というか。
- (4) 雪崩や吹雪などの、冬に降雪が多い地域で発生する災害をまとめて何というか。
- (5) 1995年の兵庫県南部地震では、住宅の倒壊や火災などによって、多くの被害がでた。この地震による震災を何というか。
- (6) 2011年、東北地方太平洋沖地震では、(3)が特に大きな被害をもたらした。この地震による震災を何というか。

2 (各4点×6)

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	

3 〈災害から身を守るために〉 次の文中の□□□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 自分の身は自分で守ることを□①□、同じ地域で生活する人々どうして助け合うことを共助、国や都道府県、市区町村による防災の取り組みのことを□②□という。
- (2) 多くの自治体では、洪水や地震などの自然災害が起きた場合の被害予測を表した地図を作成している。このような地図をカタカナで□□□□という。

3 (各2点×3)

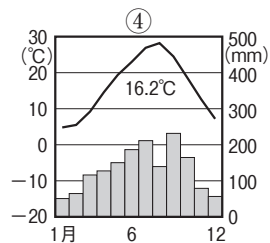
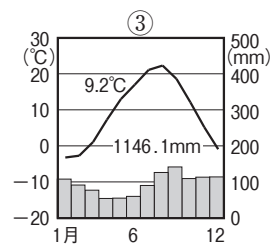
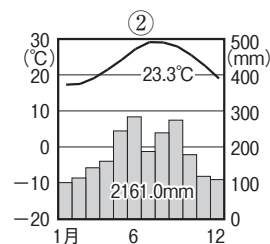
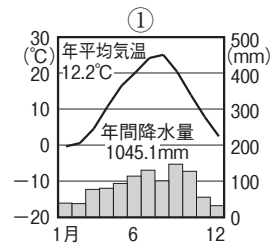
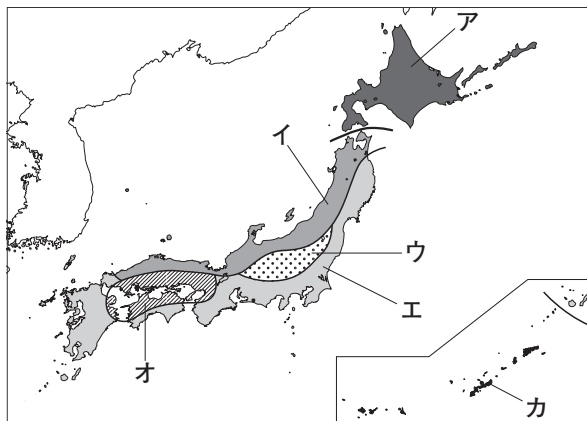
(1)	① ②
(2)	



日本の特色と地域区分(2) 気候・災害②

氏名	組番	得点
		50

1 次の地図やグラフを見て、あとの問いに答えなさい。



(気象庁資料)

(1) グラフ①～④は、札幌市・松本市・名古屋市・那覇市のいずれかの気温と降水量を表している。

①～④が当てはまる気候区分を地図中のア～カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(2) 地図中のア～カの気候区分から、梅雨の時期がないものを選び、記号で答えなさい。

(3) 台風が頻繁に発生する時期として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 春から夏にかけて イ 夏から秋にかけて
ウ 秋から冬にかけて エ 冬から春にかけて

1 (各5点×6)

(1)	①
	②
	③
	④
(2)	

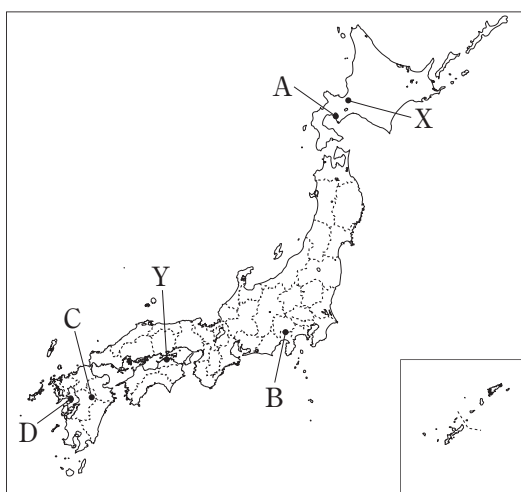
2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 1990年代に、火砕流などをともなう噴火し、大きな被害をもたらした火山の位置を地図中のA～Dから選び、記号で答えなさい。

(2) 地図中のXの都市で見られる、道路に温水パイプを埋めて道路全体を温める装置を何というか。

(3) 地図中のYの都市でつくられてきた、雨水などを蓄えるための池を何というか。

(4) 減災とはどのような考え方か、簡単に説明しなさい。



2 (各5点×4)

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	



6

A

日本の特色と地域区分(3)

人口①

氏名

組 番 得 点

/ 50

1 〈変化する人口〉 次の問いに答えなさい。

- (1) 老年人口割合の増加と、年少人口割合の減少が同時に起こる現象を何と
いうか。
- (2) 出生率・死亡率がともに高い社会に見られる人口ピラミッドの形は何と
いう型か。
- (3) 出生率・死亡率がともに低く、人口が減少している社会に見られる人口
ピラミッドの形は何という型か。
- (4) (2)から(3)に変化する間に見られる人口ピラミッドの形は何という型か。
- (5) 年齢別人口のうち、15歳以上65歳未満の生産活動に従事する人口層を何
と
いうか。
- (6) 過剰な労働をやめ、育児や介護、趣味、地域活動などの仕事以外の生活
と、仕事との調和をとることを何というか。

1 (各3点×6)

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	

2 〈人口分布のかたよりがもたらす問題〉 次の文中の□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 三大都市圏とは、東から順に東京圏・□①□圏・□②□圏の3つの都市
圏のことであり、これらの人口を合わせると、日本の人口のおよそ半分を
占める。
- (2) 人口が著しく減少し、バスの本数が減ったり、学校が閉校になったりす
るなど、社会生活や経済活動が成り立ちにくくなっている地域を、□□
地域という。
- (3) (2)の地域では、65歳以上の人口の割合が高くなる□□が進み、同時に
子どもの数も減っている。
- (4) 高度経済成長期には、(1)の都市圏や地方の中心的な都市である□□都
市に、仕事を求めて移住する人々が大幅に増えた。
- (5) 都心の土地不足・住宅不足を背景に、郊外に形成された大規模な新興住
宅街を□□という。
- (6) 地価が高いなどの理由で都心は居住する人が少なくなっていたが、近年、
都心やその周辺で再開発が行われたことにより、都心に居住する人の動き
が見られるようになった。この現象を□□という。
- (7) 市街地が郊外へ拡大するのを抑制することなどを目的として、公共サー
ビスや商業施設などの生活機能を中心部にまとめた都市をカタカナで□□
という。

2 (各4点×8)

(1)	①	圏
	②	圏
(2)		地域
(3)		
(4)		都市
(5)		
(6)		
(7)		

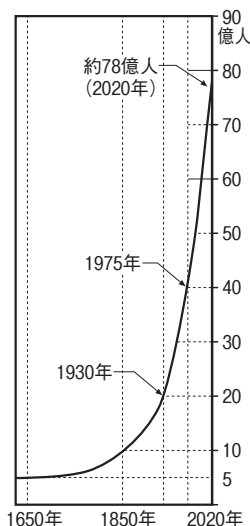
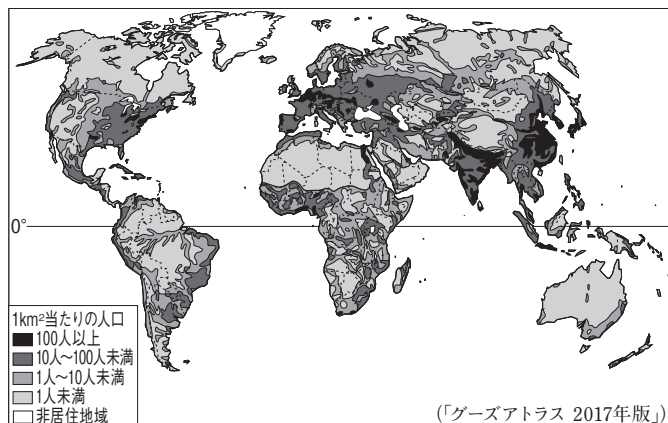


日本の特色と地域区分(3)

人口①

氏名	組番	得点
		50

1 次の地図やグラフを見て、あとの問いに答えなさい。



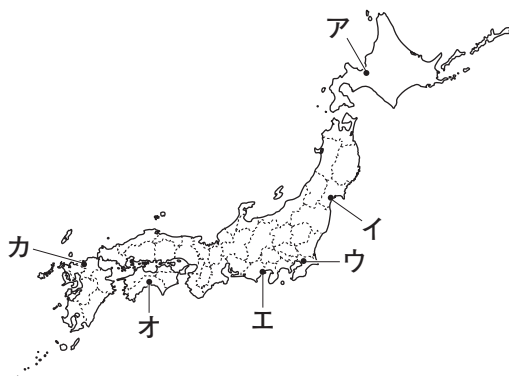
1 (各5点×5)

(1)	①	
	②	
(2)	約	倍
(3)		
(4)		

- 地図を参考に、①人口密度が特に高い国と、②人口密度が特に低い国を、次からそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。
ア アメリカ合衆国 イ ロシア連邦
ウ オーストラリア エ インド
- 2020年の世界人口は、1650年の約何倍か。右上のグラフを参考に、小数第1位を四捨五入して答えなさい。
- 右上のグラフから読み取れる、20世紀後半に起きた人口に関する現象を漢字4字で答えなさい。
- アジアやアフリカの多くの発展途上国の人口が、20世紀後半に急速に増加した理由を説明した次の文の□にあてはまる内容を書きなさい。
出生率に大きな変化はなかったが、□から。

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- 地図中のア～カから、人口が多く、地方の中心的役割を担う都市を3つ選び、記号で答えなさい。
- (1)のような都市に人口が集まる一方で、山間部などでは人口流出が進んでいる。このような山間部で問題になっていると考えられることを次から選び、記号で答えなさい。



- ア 交通機関の廃止 イ 住宅の不足 ウ 交通渋滞 エ 地価の高騰
- 郊外から通勤・通学する人が増えたため、大都市の中心部で夜間人口が少なくなる現象を何というか。

2 (各5点×5)

(1)	
(2)	
(3)	